



R 6. 1. 5

(3・4・5歳児)

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年はいろいろとご協力いただき、まことにありがとうございました。

年末年始はご家族でゆっくり過ごされたことでしょう。子どもたちもエネルギーを蓄えたようで、園には笑顔と元気な声が響き活気にあふれています。

今年度の生活も残り三ヶ月となりました。子ども達が笑顔いっぱいの毎日が過ごせるよう、一人ひとりの姿を丁寧に見つめていきたいと思います。本年も何卒宜しくお願ひ致します。



### 今月の目標

- ◇あかぐみ・・・冬の生活の仕方が身につき、身の回りのことを進んでできるようにする。
- ◇きいぐみ・・・冬の自然に興味や関心をもち、友達と考えを出し合いながら遊びに取り入れて楽しむ。
- ◇みどりぐみ・・・仲間同士で共通の目的をもって遊ぶ中で、役割分担や創意工夫をしながら、達成感や充実感を味わう。



### 発表会

約一ヶ月間練習を頑張ってきた子どもたち。幕が上がるとなれば緊張した面持ちでしたが堂々と踊ったり、歌ったりする姿に嬉しく思いました。それぞれが大きな自信に繋がったことだと思います。

たくさんの拍手に包まれ、子どもたち一人ひとりが輝く素敵な発表会になりました。ご協力とご声援、ありがとうございました。

### みどりぐみ

1月より、午睡の時間を利用してひらがなのワークを行っていきます。ひらがなの書き順や止める、はねる、はらうなど説明をしながら1字1字丁寧に書く練習をしていきます。

### あかぐみ ~お手伝い(自己信頼性を培う)~

人の役に立つことを嬉しく、誇らしく感じ、進んで大人の手伝いをしたり、年下の子の世話をしたりするようになる時期です。このような経験を積み重ね、相手を気遣う心を培ったり、自己信頼性(自分に自信を持つこと)を高めたりしていきます。

#### 自信を高める声掛けを

「朝の準備が一人で出来たね」などその子の行動を認めたり、「○○ちゃん、スープを配るのを手伝ってくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝えるなど、自信のつく言葉を意識的にかけていくことが大切です。

小さな成功体験を積んで褒める、結果ではなく努力の過程を褒め、子どもたちの自信に繋げていきましょう。

### きいぐみ ~クラスの様子~

毎日元気いっぱい、外遊びもおしゃべりも大好きなきい組さん。

先日の文化祭や発表会の間はあかぐみさんと一緒に過ごすことが多かったのですが、お話を聞く場面では、あかぐみさんと一緒にいるのが楽しく気付かずにおしゃべりに夢中になっていることもしばしばです…。「今何をしたらいいのか」「お友達は何をしているのか」「自分は何をしたらいいのか」を気付いてほしい、考えてほしいと日々伝えています。

もう、すぐそこまでみどり組さんになる日は近づいています。今後も、周りの友達に合わせる協調性や状況を見て行動出来るよう指導を行っていきます。

### みどりぐみ ~就学に向けて行なうこと~

・就学に向けて、子どもたち同士で話し合いをする時間を設けていこうと思います。子どもたちの「～してみたい」という声を大切にし、“どうしたら出来るか”意見を出し合い、時には失敗しながら問題を解決していく力がこれから大切になってきます。自分の話だけではなく、友だちの話にも耳を傾けながら1つの目的に向かって取り組む、楽しさ・難しさを感じられるよう見守っていきたいと思います。

・長時間（45分）姿勢の維持ができるようになる

小学校では1時限が45分です。その間授業に集中するために姿勢の維持が必要になります、小学生になりすぐに出来るものではありません。普段の生活から正しい姿勢を心掛け、体幹を鍛えるために自分の荷物は持つなど指導を行なっていますので、ご家庭でも心がけをお願いします。